

防災を考える。

～ vol. 4 ～

東日本大震災から3年を経過した今、
あらためて防災について考えてみましょう。

平成26年度 小野町総合防災訓練

小野町総合防災訓練が9月7日、小野第2工業団地を会場として実施されました。

町では毎年、会場を変え防災訓練を実施しており、今年度は消防団第7分団管

内が訓練会場となりました。地域の特色を生かし、工業団地内を災害現場として設定したことで、多くの企業から協力していただくことができ、身近に発生する恐れがある災害を想定した訓練を行うことができました。

消防団をはじめ消防署や警察署、防災関係機関、そして塩庭一区、塩庭二区、上羽出庭、和名田の行政区の皆さんと工業団地内のイハラ建成工業(株)自衛消防隊に参加いただき、大変活気のある訓練となりました。

災害は、いつどこで起こるか分かりません。そのため、積極的に防災訓練へ参加・見学し、いざという時のための正しい知識と、日頃からの防災意識の高揚を図りましょう。

また災害時には地域内での協力が不可欠になってきます。こういった機会に隣近所や、地域全体で防災について共通理解を深めましょう。



1_非常持出袋を携帯し避難訓練に参加する住民 / 2_林野火災への放水訓練 / 3_事故車両からの救助訓練 / 4_医師によるトリアージ訓練 / 5_放置車両を撤去する訓練 / 6_イハラ建成工業(株)自衛消防隊による避難訓練

4月に配布した『小野町防災ガイドブック』が町ウェブサイトのトップページの災害対策関連情報から見る事が可能になりました。